

1. 事業目標達成状況の評価年月日	平成28年6月30日	最終更新:平成29年3月13日			
2. 地区名	穴水地区				
3. 評価者	穴水町				
4. 事業目標達成状況の評価	(上段):計画 下段:実績				
事業目標	指標	事業前	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	観光客入込数(交流人口の拡大)(人)		(165,000)	(180,000)	(206,000)
		159,652	156,000	237,492	352,475
	地域特産物の開発(累積)(品)		(3)	(5)	(10)
0		3	4	10	
本交付金の評価	平成26年度	農村資源保全推進対策	<p>能登ワイン一体を活用した周辺環境整備計画の「あなみず恵みの里山構想計画」の策定、地域の歴史や伝統行事等を集めたDVDの作成、及び首都圏向け情報PRツールとしての活用により、「あなみず恵みの里山里海」の情報発信を行った。しかしながら、広く周知が行き届かなかったため、観光客入込数が前年度(H25)比2.3%の減となった。</p> <p>「あなみず恵みの里山構想計画」に基づき、ワイン用ぶどう畑に併設される耕作道整備を実施し、ぶどうの安定供給及び里山景観保全を図った。これにより、能登ワインにおける年間醸造本数が前年度(H25)比で22,501本増加することとなった。</p>		
	平成27年度	農村資源保全推進対策	<p>「あなみず恵みの里山構想計画」をより具体化するため、「あなみず恵みの里山実施計画」の策定、PR用手提げ袋及びポスター(英語表記)を作成し、平成26年度に引き続き、首都圏向けにPR活動を行ったところ、観光客入込数が平成26年度と比較すると52%増加し、目標を2年目で達成することが出来た。</p> <p>平成26年度に引き続き、ワイン用ぶどう畑に併設される耕作道整備を実施し、ぶどうの安定供給及び里山景観保全を図ったところ、年間醸造本数が前年度比で1,556本増加することとなった。</p>		
事業全体の評価	全体総評	<p>観光客入込数については、北陸新幹線金沢開業効果を本町へ普及させるため、積極的な首都圏PRが功を奏したと考えられ、目標を2年目で達成することが出来た。今後も、引き続き首都圏向けPR活動を継続し、世界農業遺産「能登の里山里海」の周知に努め、交流人口の拡大を図る。</p> <p>一方、地域特産物の開発は、穴水町地域おこし協力隊を中心に平成26年度に「金糸瓜」、「乾し椎茸(のと115)」、「紫わらび」を原料とした商品開発を進めた。平成27年度も「えんどう豆」を原料とした商品等の開発を進めたが、目標を1件下回る結果となった。しかし、平成28年度には、規格外牡蠣の活用や椿オイル、ボラ茶漬、醸造用ブドウ等の商品開発を進め、目標を達成した。</p>			

活動状況写真

<実施前>



あなみず恵みの里山構想計画策定委



あなみず恵みの里山実施計画策定委員会

<実施状況>



里山里海P



耕作道整備

<完了後>



手提げ袋、ポスター(英語表記)



耕作道整備